

困窮世帯に食料届け ボランティアが箱詰め



食料を箱詰めするボランティア

企業や個人から資金と食品の提供を受け、松江市内の困窮世帯に食料を届けるフードバンク事業に取り組む民間団体「フードバンクしまね あったか元気便」(松江市西津田3丁目)がこのほど、夏休み向けの食料の箱詰め作業を行った。100人を超えるボランティアが134世帯分約1・6トの食料を箱詰めした。

団体は年4回、無償で困窮世帯に食品を届けている。自宅で食事の回数が増える夏休み向けの食料は米や菓子、レトルト食品といった日持ちがして、子どもだけで食べるができる食品を中心に集めた。ボラ

ンティアは3人以下の世帯向けに10キ、4人以上は15キの食料を詰めた。作業の最後には、ボランティアからの手書きメッセージやJ Aしまねくにびき地区本部女性部が手作りしたマスク2枚も一緒に入れた。

あったか元気便事務局長、須田敬一さん(68)は「みんなが見守っている、応援しているというメッセージを届けたい。これからは地域とのつながりづくりを積極的に取り組みたい」と話した。

現在は、2回目の夏休み向け食料を募集している。問い合わせは事務局、電話0852(67)3080。